



1.17 祈りのコンサート 2020

管弦楽：神戸市室内管弦楽団

合唱：神戸市混声合唱団

指揮：松原千振

Program

J. S. バッハ

管弦楽組曲 第3番 BWV1068 II Air

千原英喜

レクイエムより “相聞” “挽歌” (柿本人麻呂 作歌)

E. H. グリーク

2つの悲しい旋律 Op.34

J. ブストー

Missa pro defunctis (死者のためのミサ) より
Offertorium (奉献唱)

Antiphona~In Paradisum (交唱~楽園へ)

Kojiki Cogitatio (古事記に想いをよせて)

クラリネットソロ 糸井裕美子

L. v. ベートーヴェン

弦楽四重奏曲 第16番 へ長調 Op.135

III レント・アッサイ、カンタンテ エ トランクイロ

W. A. モーツァルト

Ave verum corpus KV618

P. ヴァスクス

Dona Nobis Pacem

S. バーバー

Agnus Dei Op.11

田中利光

津軽の音素材による混声合唱組曲 四季より “春”

2020年1月17日(金) 18:30開演
(18:00開場)

神戸文化ホール 中ホール

■入場料(全席自由)

前売 2,000円 (当日 2,500円)

U25 (25歳以下) 1,000円

※U25チケットは神戸文化ホールプレイガイドのみの販売(前売・当日とも同一料金)です。
チケット購入の際は年齢確認ができる身分証明書をご提示ください。

【チケット発売所】 チケット発売：9月13日(金)

■神戸文化ホールプレイガイド	TEL.078-351-3349
■チケットぴあ	TEL.0570-02-9999
	Pコード：157-135
■ローソンチケット	TEL.0570-084-005
	Lコード：56317
■イープラス	https://eplus.jp/
■神戸国際会館プレイガイド	TEL.078-230-3300

1.17 祈りのコンサート2020

祈ることは想うこと。

これまで私たちは、神戸の皆さんと共に、この神戸のまちで祈り続けてまいりました。1996年に「鎮魂の調べ」と銘うって始まった祈りの集いは「希望の調べ」、「平和の調べ」と名を変え、長らく「レクイエムの夕べ～祈りをこめて～」として親しまれ、2018年より「1.17 祈りのコンサート」となり、この度で四半世紀を迎えます。

この度の演目は「祈り」、「追悼」、そして「絆」を念頭に選曲しました。これらの言葉は震災を経験した人々にとってユニヴァーサル(普遍的)な概念を持っています。それゆえ、捧げられる曲たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災で、甚大な被害を受け、多くの犠牲者を出した東北地方への想いもこめたものでもあります。私たちにとって「1.17」の在り方は、時の移り変わりと共に次第に変化してきました。それと共に、この日の皆さんとの集いのかたちも変わってまいりました。しかし私たちは「1.17」を通して培われた人と人との友情と絆を、多くの人々から賜った愛を忘れてはなりません。亡くなられた方々のことを忘れてはなりません。なぜならば、今の神戸のまちは、つねにそれら全ての上で在り、これからも発展してゆくのですから。

感謝を心にし、皆さんと共にこの神戸のまちでいつまでも祈り続けられ、想いがいつまでも未来へと受け継がれますように。

神戸市混声合唱団 副指揮者 太田 務

指揮 松原千振 Chifuru Matsubara

1951年長野県生まれ。国立音楽大学卒。渡欧。シベリウスアカデミーに学び、マスタークラスを修了。エーリック・エーリクソン、ダン・ウーロフ・ステーンランドに師事。1978年からフィンランドを中心に北欧及びバルト諸国で活動。ヘルシンキ大学男声合唱団の第二指揮者として、多くの初演を手がけ、1985年からフィンランド放送室内合唱団の指揮者としてルネサンス時代の作品の指揮にあたる。また1987年春に、フィンランドで発見された膨大な曲数にのぼる中世の単旋聖歌について、その解説を含む復元作業をフィンランド放送協会から委嘱され、その整備のかたわら蘇演にも当たっている。なお、このために同放送協会は12人の古楽合唱団(セートウス・ノステル)を編成し提供している。1988年から、欧米のプロ合唱団の客演指揮者を常時、務めている。1995年東京混声合唱団第150回定期演奏会に初登場。1997年東京混声合唱団常任指揮者、2013年同合唱団正指揮者、2017年10月神戸市混声合唱団音楽監督に就任。



神戸市室内管弦楽団 Kobe City Chamber Orchestra



1981年、神戸市によって設立。バロックから近現代までの幅広い演奏レパートリーのほか、埋もれた興味深い作品にも意欲的に取り組みながら、質の高いアンサンブル活動を展開している。

2000年、巨匠ゲルハルト・ボッセを音楽監督に迎えてから、演奏能力並びに芸術的水準は飛躍的な発展を遂げ、日本を代表する室内合奏団へと成長した。

毎年のシーズン・プログラムは充実した内容の魅力あふれる選曲で各方面からの注目を集め、説得力ある演奏は高い評価を受けている。内外の第一線で活躍するソリストたちとの共演も多く、2011年3月の定期演奏会でのボッセ指揮によるJ.S.バッハ「ブランデンブルク協奏曲全6曲」の名演はCDとしてリリースされている。また、2011年9月にはドイツのヴェストファーレンクラシックスからの招聘を受けてドイツ公演を行い、大成功を収めている。

2013年度からは、日本のアンサンブル界を牽引する岡山潔が音楽監督に就任し、さらなる発展に尽力した。2018年4月より楽団名を「神戸市室内管弦楽団」とし、さらなる音楽的発展を目指して新たな活動を展開している。

両団共通公式Facebook

<https://www.facebook.com/kobeensou/>



神戸市混声合唱団 Kobe City Philharmonic Chorus



1989年に神戸市により設立された日本を代表するプロフェッショナルの合唱団。神戸を拠点に童謡・唱歌、日本歌曲、外国歌曲、オペラ、シャンソンまで豊富なレパートリーをもち、市民に身近な合唱団として親しまれ「音楽のまち神戸」推

進に大きな役割を果たしている。

2005年には、ウラディーミル・アシュケナージ指揮、NHK交響楽団と「レクイエム」(阪神・淡路大震災10年)を共演。2010年、合唱の国ラトヴィア(リガ市)で世界的に有名な室内合唱団「アヴェ・ソル」とジョイントコンサートを行い、姉妹合唱団協定を締結。2013年7月、リガ市からの招聘により、ユネスコ無形文化遺産であるラトヴィア「歌と踊りの祭典」に出演。

また、2011年に初のCD、特別演奏会「宇野功芳 叙情の世界」を、2012年には第2弾CD「宇野功芳 叙情の世界2」をリリースし、レコード芸術特選盤などに選出される。2017年10月に松原千振が音楽監督に就任。澄みきった密度の高い合唱は、美しい神戸ハーモニーとして高い評価を得ている。

神戸市混声合唱団公式Twitter

<https://twitter.com/kobekonsei>



今後の主なコンサート予定

神戸市混声合唱団 春の定期演奏会 “春へのあこがれ”

2020年3月7日(出) 14:00開演 (13:30開場) 神戸文化ホール 中ホール

指揮: 松村 努

曲目: 信長 貴 富: 春と修羅

B.ブリテン: 5つの花の歌 op.47

横山 潤子: 混声合唱曲集「笑いのコーラス」ほか

入場料: 一般 4,000円 U25 (25歳以下) 1,000円 全席指定

神戸市室内管弦楽団 生誕250年 ベートーヴェン・チクルス ベートーヴェンの森 第2回

◆神戸公演 2020年3月20日(金・祝) 15:00開演 (14:30開場) 神戸文化ホール 中ホール

◆東京公演 2020年3月22日(日) 15:00開演 (14:30開場) 紀尾井ホール

指揮: ジョナサン・コーエン

ピアノ独奏: キム・ソヌク

曲目: 交響曲 第1番 ハ長調 作品21

ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品37

交響曲 第8番 ハ長調 作品93

入場料: S席4,000円、A席3,000円 U25 (25歳以下) 1,000円 全席指定

上記2公演チケット発売日: 友の会先行発売 2019年10月26日(出) / 一般発売 11月1日(金)

無料託児サービスを実施いたします

- 1 利用時間: 18:00(開場時)~終演20分後
- 2 託児対象: 1才~就学前まで
- 3 申込期間: チケット発売日~1月10日(休)まで
- 4 定員: 10人(先着順)
- 5 申込方法: 下記までお電話にてお申し込みください。



【申込み・問合せ】(公財)神戸市民文化振興財団 事業部 演奏課
TEL 078-361-7241



神戸文化ホール

〒650-0017
神戸市中央区楠町4丁目2番2号
TEL.078-351-3535(代)